

27年度 国語科（書写）

教科書選定の観点

- (1) 書写の指導の目標を達成するために、基礎的・基本的な知識・技能等の内容の定着を図る工夫・配慮がされていること。
- (2) 書写の学習内容が系統立てて取り上げられ、国語の指導とも関連させた配列であること。
- (3) 生徒の創造的な能力や主体的な学習を促す工夫がされていること。
- (4) 毛筆の学習の成果が硬筆の学習に生かされるように、教材内容や構成が工夫されていること。
- (5) 書写の能力を生活に役立てることができるよう配慮されていること。
- (6) 他教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動、他校種、また、環境教育、情報教育、生き方探究（キャリア）教育等の教育課題との関連について配慮されていること。
- (7) 基本的人権の尊重及び道徳性の育成の視点からの内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。
- (8) 表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成などについて配慮がされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。